

おるご〜る

No.
185

男女共同参画
わこうプラン推進委員だより

閩人権文化課 ☎424-9088

駅の階段で、 「男女共同参画型社会」 を考えた!

わこうプラン推進委員
大河内 茂美

身内の1歳児の“イクジイ”をしている。先達で、浅草橋でのイクジイの用事に合わせて上野動物園の見学でもと、1歳児の母親と3人で出掛けた。

その日の天気予報は雨のち曇り。出発時からの小雨は上野駅に近付いても一向に止む気配がなかったので、動物園は諦めて、浅草橋に向かった。

電車の中でのベビーカーへの悪意の視線を感じずともなく、笑顔を向けてくれる人が多く嬉しく思った。

ベビーカーの“関門”と予想された乗換え駅の秋葉原駅に到着。さっそくエレベーターの位置が分からず、焦った。人が多く、ホームも狭く、ベビーカーには優しくはなかったが、それでも無事乗り換えることができた。ホッとしたのも束の間に浅草橋駅に到着。

改札口に向かって行くと、何とエスカレーターもエレベーターもない階段が待っていた。実はイクジイは右肩が“腱板損傷”。重たいものを持ち上げられないので「これは困った」と思っていると、母親が1歳児をベビーカー

に乗せたまま降りて行くではアリマセンか! その遅しさに感服。こうして改札口を出ると、またまた更に急な階段の出現にガックリ。駅員さんに降りる方法を尋ねると、「降ろしてくれる」とのこと。駅員さんに感謝しつつ、設置に伴うコストのことを十分承知しながら、「人力しか手段のない駅」を恨めしく思った。車椅子利用者、高齢者、妊産婦や病弱者などの交通弱者が利用する場合も「こうしているのか」と思うと、駅員さんに同情。帰路は、昇降設備を備えている地下鉄を利用して遠回りして帰った。

強い社会を創るためには子育て家庭や社会的弱者が「共生できる社会」の構築が必要かと思う。そのためにはインフラを含めて制度や仕組みに「イコールフットイング（基盤・条件の同一化）」の考え方が必要と思う。多少のコストも止むを得ないと思う。このような社会の実現が、男女共同参画型社会の構築に繋がるかと思う。そんなことを考えさせられた1日でした。

『男女共同参画苦情等処理窓口をご利用ください!』

「市の男女共同参画推進施策や男女共同参画の推進に影響を及ぼす施策への苦情」や「セクハラや男女共同参画を阻害する人権侵害の相談」をお受けします。

閩人権文化課 ☎424-9088